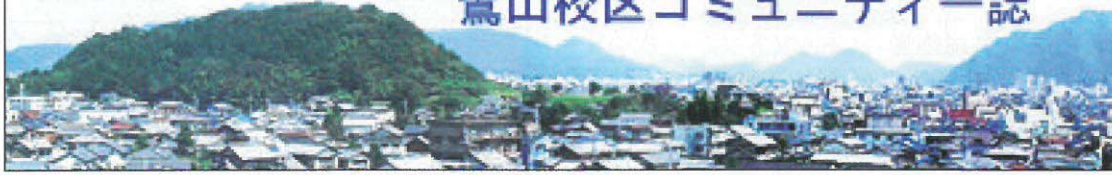


ふれあい鷺山

鷺山校区コミュニティ誌



第19号

2009年3月30日

発行

鷺山自治会連合会

鷺山まちづくり

協議会

本誌は自治会加入世帯全戸へ配布しています

里山”鷺山”周辺が風致地区に

鷺山校区の中心、シンボルの鷺山周辺が風致地区に指定されました。緑豊かに自然が残る里山とすばらしい景観を大事にし、次代に残していきたいでしょう。

鷺山はご存知の通り、鷺山地区のほぼ中央に位置し、平坦な市街地に囲まれた標高約68mの地区内唯一の里山です。

地区のシンボルとして住民に親しまれ、市街地にお

ける良好な自然的景観を形成する重要な自然環境資源です。

さらに、鷺山は、歴史上、古く戦国時代の美濃守護職の土岐頼芸や斉藤道三とその娘濃姫などにゆかり

があり、麓には、北野神社、白山神社、心洞寺などの社寺が建立されるなど歴史的、文化的にも重要な環境を有しています。

平成12年には、市が鷺山と一体となった区域を鷺山公園（都市公園法に基づく風致公園）として開設し、住民をはじめ多くの市民の憩いの場として供用されています。



鷺山風致地区指定区域 約9.9ha

第1種風致地区
緑線で囲まれた地域
第3種風致地区
黄線で囲まれた地域(除第1種地区)

現在は、地域住民のボランティア活動によりサクラの植樹、下刈り等の維持管理が行われる等鷺山の自然環境の保全について積極的に取り組んでいます。このよう

おしらせ

校区の行事

- 4月4日(土) 道三祭り協賛 鷺山みこしパレード
- 4月6日(日) 春の全国交通安全運動
- 4月20日(月) 鷺山自治会連合会総会
- 5月16日(土) 自治会・協力団体合同会議

から、岐阜市が鷺山地区の良好な自然的景観及び周囲の市街地の都市環境の保全を図るため、鷺山とその周囲の市街地一体を風致地区に指定しました。

市内で風致地区に指定されている区域は、

- ◇金華山・長良川風致地区
- ◇金華山、藍川橋、河渡橋間の長良川、百々ヶ峰、船伏山周辺
- ◇長森前一色風致地区
- ◇加納城址風致地区

で、新しく鷺山地区が加わりました。

鷺山風致地区の法的ルールについては、次頁へ続く

風致地区における岐阜市風致地区条例の法的ルール

風致地区条例の基づいて、風致地区内の良好な自然的環境(自然的景観)を維持するため、次の通り必要なルールが定められています。

風致地区種別(区域)	保全方針	建築物の高さ	建ぺい率	外壁の後退距離	緑地率(緑被率)	切土又は盛土の高さ
第1種風致地区(鷺山および鷺山公園)	地区内の重要な自然環境資源、市民の憩いの場として、一体的に保全を図ります。	8m以下	20%以下	道路から3m、他の敷地境界1.5m以上	50%以上	3m以下
第3種風致地区(鷺山の周囲の市街地)	鷺山と一体となって、緑豊かで良好な住環境の保全を図ります。	12m以下	—	—	10%以上	5m以下
共通事項	1. 建築物等の色彩及びデザインなどは、周囲の自然的景観などと不調和でないこと。 2. 木竹の伐採については、必要最小限で、かつ、周囲の自然的景観などを損なわないこと。 3. 土石の採取、水面の埋立てなどその他についても、周囲の自然的景観などを損なわないこと。					



南半分が削られた鷺山 (鷺山史誌から)



大正時代の鷺山の全貌 (岐阜県図書館蔵複写)

鷺山の昔々

里山の鷺山は、昔は東西200m、南北500mの広がりを持つ、標高約68mの独立丘陵で、南北方向が東西方向に比べて、やや長い楕円形をしています。山頂部は北から南へなだらかに続いているが、山の中央から麓にかけては急崖のような斜面となっている。

この里山付近にはいつごろから先人達が住み生活していただろうか・・・丘陵頂上南半分付近から3、8基の古墳が見つかっています。当時の生活様式の一つとして環頭太刀、直刀、剣、鉞、高坏、須恵器(四世紀末出土品)、鉄斧(五世紀)等の品が、昭和36年頃の発掘で出土しており当時の様子が伺われる。(出土品は市歴史博物館保存)

南側の急斜面の麓には昔は、川があたかも城の壕の

ような役割を果たして流れて、この地形を利用してこの鷺山に西暦1158年頃、鷺山城が築城されていたようである。(土を掻き上げて敷地を造りその上に築造した小さな城で、城郭は麓にあったのではないかといわれている)

明治24年頃 水害を避けるためか、正木字山本(前の鷺山農協の駐車場)の山の上に正木尋常小学校が創立され、明治30年には鷺山村、正木村、下土居村三ヶ村合併となつてからは鷺山尋常高等小学校となり、昭和10年岐阜市に合併するまで約40年間この山に小学校が建てられていた。

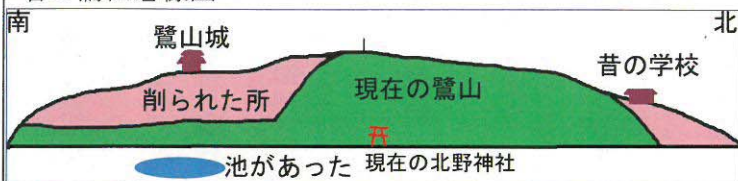
戦後急速な都市化により各地の開発事業が進むにつれ、この山土も土木材料として着目され、採土した跡地を宅地利用することが可能なことから、昭和36年頃から里山が削られ始めた。その主なものは北側約1haが岐阜市藪田の造成

地、南側約2haが名神高速道路の盛土材料として運ばれた。これらの採土跡地は一部宅地となっている。

「歴史と自然を守ろう」という市民運動から、この里山を公園化したいという気運が高まり、土地地権者17名の方々の厚いご理解とご協力を得て、自治会連合会が中心となつて約百名の有志によつて昭和59年9月「鷺山桜の会」が結成され、桜1200本、モミジ200本が植栽された。

南面麓の高台に、平成12年岐阜市によつて整備され、鷺山公園になりました。(天野敬也氏「ふるさと鷺山」から抜粋)

昔の鷺山想像図



新成人を祝い励ます会が 開催されました

1月11日(日)長良川国際会議場で校区の「新成人を祝い励ます会」が行われました。今年度は昭和63年いよ平成生まれの人も含まれ、91人が出席し、来賓や恩師からお祝いを受けました。



新成人の誓い

私達はこれまで故郷鷺山の豊かな自然と温かい地域の皆様のもとで成長してまいりました。私達それぞれの中に鷺山という土地で培った経験、思い出、人生における財産がある事とします。

今、周りを見渡してみると、時の流れの中で、変わりゆくもの、変わらないもの、様々なものがあると思えます。地域の発展を思えます。

新成人代表 堀 倫也

ば嬉しく、また、少年時代を思い起こせば少し寂しくもあります。変化を遂げていく時代の中で何が「善」で何が「悪」なのかを極めることは難しいかもしれませんが、私達は成人を迎えた今、世の中の流れに身を任せるのではなく、その時々、社会のため、自分のためにできることは何かを考えながら、一歩一歩、未来へと歩んでゆこうとの決意を固めております。

消防出初式で雄姿!! 正木の桑原さんがはしご乗り



岐阜市消防出初式(明德小 校庭で)



桑原豊明さんの雄姿

1月18日(日)明德小学校校庭で、岐阜市消防出初式が行われました。市内消防48分団、市民消防隊、女性防火クラブ、少年消防クラブ等、1700人が一堂に会しました。

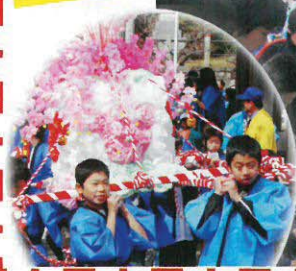
今年鷺山分団の桑原豊明さんが、2年間の訓練のすえ、はしご乗りのすばらしい技を披露しました。鷺山から自治会長ら30人程が参列しました。

4月4日(土) 道三まつり協賛

鷺山みこしパレード

17時 土居若水鏡割り
合渡とんくる太鼓
スギ薬局駐車場

正木地区も3基新登場!!



●古川若水みこし
午前 子どもみこし
夕5時半 大人みこし
スギ薬局へ

●北野神社みこし
午前 神社~蟬
午後 鷺山本通り
境内に屋台・呈茶

●土居睦会みこし
午前 子どもみこし
夕5時 大人みこし
6時 スギ薬局へ

旧保育所跡に 「鷺山子ども館」 子ども支援活動に活用を

昨年4月に鷺山保育所が新保育所へ新築移転した後の空き施設について、社協鷺山支部が中心になって活用を提案してきましたが、比較的新しいモルタル造りの部分(3室)のみ残り、改修され4月から「鷺山子ども館」として再生されました。

この鷺山子ども館は、「子どもが遊び、学び、様々な人と触れ合うことができ、かつ、安心して過ごすことができる安全な居場所をつくる」ことを目的に市福祉部子ども家庭課が引

き続き設置するものです。

職員が常駐して平日は午後2時半から5時半まで、土、日は午前9時から午後5時まで小学生なら誰でも利用できます(学童保育ではない)。月曜日は休館、開設時間は冬季は30分繰上りです。建物は2部屋、職員室、トイレからなり面積約252㎡。

地元が提案していた地域住民の福祉、まちづくり活動の拠点としての利用は、申請により上記の開設時間外で、子どもの安全見まもり活動、子育てサロンなど、子どもに関わる地域活動であれば利用できます。駐車場も敷地内に少々あります。

(N・J)



改装なった旧保育所が「鷺山子ども館」に

ぼちぼちよくなる鷺山の街

ヒヤリハッとバリアフリー対策事業

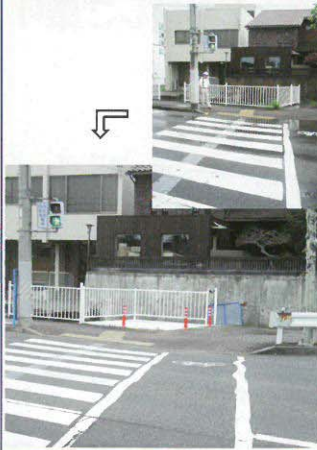
鷺山くらしの安全推進委員会が平成19年度事業として取組んできました「ヒヤリハッとバリアフリー対策事業」については、昨年3月に報告会議を行い、「防災マップ」を作成配布して終了しました。しかしまだ未解決もあり、本年度も引き続き改善要望を市、警察に強力に働きかけを行った結果、主な箇所が左記のように改善がなされました。(川上)

◆西古川町から南へ清流園へ出る細い道―道肩が崩れ危険だった。●側溝まで出来、快適な道になった。(市が対応)



◆鷺山本通りと金華橋通りの北西角―朝の通学時、自転車があふれ、他の人が通れなかった。●用水にふたをして、歩道を広げた。(市が対応)

奥の白い路面の歩道部分が広くなった。



◆若草町地内南通り―路面が蒲鉾状の上、路面が剥れていた。●舗装し直した。(市対応)

(市対応)



◆正木北町3番地先(写真は西向き)―バローへ行く車で右左折が多く混む―県道で交通量が多く、渋滞し、横断しにくかった。●横断歩道を新設し、車が止まるようになった。左(南)側の歩道新設も進行中。(北署対応)



◆千草町地内正木川北沿いの道と則武北山への道が橋の手前で事故が多い―塀で見通しが悪く一時停止しない●「止まれ」を路面に表示し、交差点中央に夜間用の点滅灯(右下枠の写真)を埋め込む。(北署対応)



鷺山校区 昔むかし

⑥

去る1月31日(土)公民館で「鷺山の歴史シリーズ⑬」がありました。講師の高木 晃さん(岐阜市教育文化振興事業団)が、昨年度までの発掘成果から、鷺山の昔を分かりやすく話していただきました。

縄文・古代の鷺山

私たちの生活している地域は、紀元前5〜6世紀以前は、大河が度々河道を替えながら流れていて、多分、雄総から鷺山・城田寺あたりの僅かな微高地に、遺跡・遺物から見る縄文時代晩期(紀元前4世紀頃)の竪穴住居址や甕や壺



9世紀頃の須恵器の裏面に「方」や「牟」と読めるような墨書の土器(埋蔵文化財調査事務所蔵)

がまとまって出土しているところから、人が住みはじめ集落の存在がたしかめられます。

その後の弥生時代の遺構・遺物は発見できなかったのですが、北側の山地には古墳群が並んでいて、下土居正明寺城之前遺跡に祭祀遺跡が見つかり、9世紀頃の須恵器の裏面に役所で使用したと思われる「方」や「牟」と読めるような墨書の土器や銅製の役人の着衣を巻く帯の一部(巡方)が出土しているところから、蟬遺跡付近にはこの地域を司る役所があったのではないかといいことです。

この地が大化の改新(645年)以後大和朝廷の地方行政区画として、ミノ国方県郡方県里であり、行政区画は条里制が採られていたようで、交通路としての東山道がこの地を通っていたこと。関東地方からの防人(西海を守る兵士)が鷺山を通過する要衝で、主

要な官庁街、製塩・鑄造の工房があり、美濃国の基地的存在であったようです。



役人の帯の留め金「巡方」(埋蔵文化財調査事務所蔵)

中世の鷺山

鎌倉・室町時代は、武士の支配する時代で、源氏一族が美濃国守護として荘園を管理し、鎌倉幕府の前衛基地となっていたようです。古文書にも土岐氏最後の美濃守護・土岐頼芸が拠ったと言われる福光城を造営するために人足を集める書状や、土居の地名や火葬場の跡、整然とした区画で横3縦4の10穴の柱跡(沈まないように平石を入れてある)の町並みが広がった跡も見つかり、五輪塔・狛犬など寄進のあった遺物も見つかっています。

斉藤道三

室町時代の後期15世紀の中ごろ、京都を中心に室町幕府内の勢力争い・応仁の乱が起り、京都を中心に11年間を越える長い戦いが始まります。戦いは地方にも波及し、美濃国内も支配地を広げるため近隣が戦い、最終的に斉藤道三が伝統的な源氏の系統の美濃守護(土岐一族)の政治勢力を抑え美濃支配を引き継ぎます。一五四二年の頃といわれています。

この時代は、遠江(浜松)の今川、尾張の織田の勢力も台頭してきて東山道も道筋が今の大垣市赤坂の辺りから東に直行し合渡を通り加納に向かう、江戸時代に中仙道となる道筋の往来が便利になりました。

織田信長

斉藤道三が完成させた井ノ口町を織田信長は築市築座制を敷いて経済の振興を目指します。北の長良川、金華山の南側(加納・長森・梅林)の低湿地を巧みに利用して今川・武

田氏の軍勢が都に進めないように美濃の穀倉帯を利用して政治経済の要衝を築きました。主要な道路は、鵜沼―加納―合渡―美江寺―垂井經由が中心となるため、『美濃を制するものは天下を制する』という言葉が生まれます。

終りに

さて、鷺山の地域は、斉藤道三の死後政争の中心をはずれ、水との闘いや、代官支配で諸税を負担する農村へと変貌して行きます。江戸時代は尾張藩領・加納藩領となり明治に至ります。

江戸時代以降については、機会があれば、書きたいと思っています。ありがとうございました。(元) 水野



鷺山校区の東隣に 市史跡「道三塚」

鷺山の福祉

第31号
発行
社福協鷺山支部
☎231-0040

子育て支援ひろば クリスマス会 親子80組が参加!



3B体操の終盤トンネルくぐりをする親子

昨年12月2日、鷺山小学校体育館において、校区の0〜3歳児親子80組が参加し、「子育て支援ひろば・クリスマス会」を開催しまし



サンタさんからケーキのプレゼントがありました。

た。
3B体操岐
阜県支部の高
橋さんとイン
ストラクターの指
導で3B体操を親
子で楽しんだり、
とんがり帽子のプレ
ゼント、そしてサン
タさんからはクリス
マスケーキのプレゼ
ントもありました。
お昼には、日赤奉
仕団と民生委員の皆さん手
作りの温かい「バラエティ
スープとパン」を全員でお
いしくいただきました。

410名
参加

ふれあい いきいき サロン

古川地区(2月21日)85名



社協野々村さんによる軽
い「頭の体操とゲーム」、
「指体操」で体を温めた
後、当地区ではすっかりお
馴染みとなった経大亭勝笑
さんの軽快な落語と小唄、
「笑いは心の潤滑油」では
皆さんに大いに笑っていた
できました。

次いで、地域包括支援セ
ンター北部酒井主任から
「介護予防」の講話を聞き
ました。
最後に日赤奉仕団と民生
委員の皆さん手作りの当地
区名物の「すいとん汁と特
製の花見お寿司」をおいし
くいただき、ふれあいを深
めました。

鷺山地区(2月18日)76名



地域包括支援セン
ター北部神谷さんか
ら「介護予防方法」
のお話を聞いた後、
山田和広さんの「マ
ジックショー」と茂
益亭蝶代さんの「落
語、相撲甚句、南京

玉すだれで」大いに盛り上
がりました。
次いで、全員でビンゴ
ゲームを楽しんだ後、助六
寿司の昼食をおいしくい
たできました。

緑ヶ丘地区(2月15日)47名



北警察署防犯課広
瀬係長から、最近の
管内における振り込
め詐欺事件や刑法犯
罪の発生状況と予防
対策を、次いで地元
緑ヶ丘新町で歯科医
院を開業されている
西村先生から高齢者
向けに「噛めば噛む
ほど健康長寿」と題

し講話を、そして市社協野
寺さんからは「風呂敷を
使った買い物袋の作り方」
と風呂敷を使い座ったまま
出来る「ストレッチ体操」
で体を温めました。
そのあと、お弁当を皆さ
んでいただき、最後にビン
ゴゲームを楽しみ、ふれあ
いを深めました。

男の料理教室



今年度最
後となる第
3回男の料
理教室を、
2月5日鷺
山小学校において31名が参
加し開催されました。

今回のテーマは「農業体
験の食を味わう」として、
昨年6月、食生活改善推進
協議会の皆さんが田植えし
収穫した新米(ハツシモ・黒
米・古代米・もち米)を味わ



皆さんの関心事はやはり食の安全です。

赤い羽根
共同募金

昨年10月、実
施いたしました共
同募金運動(法人
募金)では鷺山校
下の52事業所よ
り、二十七万九千四百円の
ご支援をいただきました。

うことでした。

この日のメニューは、
「ひじきと鶏肉のハンバー
グ」、「すまし汁」、「ほ
うれん草のおひたし」、
「リンゴのヨーグルト和
え」、「古代米ミックスご
飯」の5品。スタッフの皆
さんのアシストを受けなが
ら約一時間半かけて完成さ
せ早速、全員でおいしく
いただきました。

自分達で作った地産地消
の安全なお米で炊いたご飯
の出来上がりは上々で、皆
さん大満足でした。

反省会では、食生活改善
推進協議会に対する感謝の
言葉と、来年度はもっと開
催回数を増やしてほしいと
の意見が出される等、終始
和やかなうちに終了しまし
た。

共同募金会では地域で多
様な課題に取り組む様々な
福祉活動に有効に活用させ
ていただきます。

個人募金も含め、ご協力
誠にありがとうございました。

清洲地区 (2月25日) 75名



社協野々村さんから、脳
の活性化を図る「瞬目訓練
ゲーム」と「輪ゴムを使っ
たマジック」を、北部ふれ
あい保健センター鈴木保健
師から「めざそう。お元氣
で活動的な長寿」と題し、
積極的に体を動かすことの
大切さ、運動機能低下を防
ぐ「筋トレ体操」の勧めの
お話を、また地域包括支援

センター井藤主任から、
「認知症の予防」につい
て、毎日日記を書くだけ
もかなり有効であるとの説
明を受けました。
昼食の「助六寿司と吸い
物」のお弁当をおいしく
いただいた後、ビンゴゲー
ムで場が大いに盛り上がり、
和やかなうちにふれあいを
深めました。

正木地区 (2月22日) 127名



お馴染み野村老人クラブ
連合会長の話芸と、脳の活
性を図る軽い「クイズ」
の後、社協野々村さんから
「表情筋をきたえよう」と
題し、笑うことの大切さに
ついてお話を聞きました。

次に、茂益亭蝶代さんの
「落語、相撲甚句と南京玉
すだれ」の妙技を、藤澤音
楽療法士からは簡単に出来
る「指の体操」と「ナツメ
口の合唱」で、大いに盛り
上がりました。

午後からは、地域包括支
援センター北部遠山主任か
ら「いつまでもまめにくら
そまいか」と題した講話の
後、有志の方による恒例の
「カラオケ大会」、最後に
ビンゴゲームを楽しみ盛り
たくさんのプログラムでし
た。

今年度第2回「ふれあい
いきいきサロン」を5地区
の公民館で自治会長、民生
委員、日赤奉仕団、老人ク

ラブ、市社協、北部健康セ
ンター、地域包括センター
北部などの協力を得て開催
し、各地区工夫を凝らした

メニューで楽しいひととき
を過ごしました。



は 30 年 に
ル ー テ
建 ち、 32
年 に 田 辺
金 物 店、
ウ パ ー リ
美 容 室 が
開 店。 の
伊 勢 湾 台
風 っ た 大
で す が、

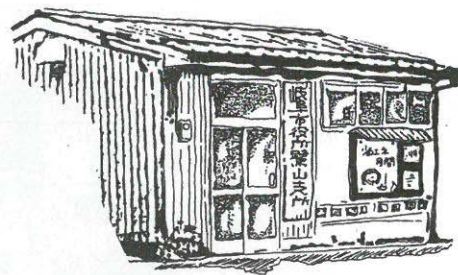
沿いの町。本通りの南に県
営住宅の緑ヶ丘が昭和24年
頃出来、市営バスも走り始
めました。本通りの北側
は空き地でした。昭和27年
(以下昭和を省略)西村歯科
が開業したそうです。



鷺山本通り 緑ヶ丘新町辺りの商店の移り変わり(昭和60年頃の地図による)

その後段々お店や住宅が増
えていきました。
左の図は緑ヶ丘新町の本
通りの地図ですが、赤色は
現在も現役のお店。特に赤
塗りの所は初期のお店で、
32年のマルヨシ、34年にモ
リカワスーパー、35年に岐

一時はかなり賑わいのあ
る街並みでしたが、63年に
マーサ21が開店してから、
徐々に閉店するお店があ
り、寂しくなりました。
さて、この辺りは、最初
緑ヶ丘自治会に属していま
したが、世帯が増えてきて



元鷺山支所のスケッチ(鷺山史誌から
複写) 写真は見つかりませんでした。

37年には鷺山支所が鷺山
北の麓から移転してきて、
主婦の店(38年開店)の前に
出来ましたが、61年には廃
止されました。

卓商信支店、36年に小林時
計店、37年に川北石油店、
44年に喫茶むらさき、カワ
イが開店しています。緑色
はかつてお店があつておや
めになったところで約30店
を数えます。



土地区画整理事業中の下
土居に児童公園とゲート

下土居に公園

32年に分離し、緑ヶ丘新町
自治会になりました。
その後どんどん広がって
いき、47年に1丁目から4
丁目の4つの自治会に分か
れました。
ウパーリ美容室の裏から
斜めにメゾン中洙へ向かう
道は元々堤防だったよう
で、切崩して早くから住宅
が建ちました。
鷺山が36年頃から削り取
られ宅地造成され、43年頃
家も建ち、4丁目は山の上
まで広がりました。(文中敬
称略)

新しい鷺山保育所の北方
で、児童公園は三・四種の
遊具が並んでいます。隣は
広場で、老人用のゲート
ボール場を予定していま
す。
この付近は遺跡の発掘を
行った所で、公園名を地元
関係者で検討の結果、北門、城
之前、中央等がありました
が、下土居の中央に位置する
ため、下土居中央公園と決定
しました。(T.K)



歩道橋(鷺山跨道橋)は昭和39年竣工